

# エントリーシート 一次選考(書類審査)

※行の挿入や書式・フォント・枠線等は変更しないでください。

※施設部門・在宅部門の割り振りは、当会にて行いますのでご了承下さい。介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法上の区分けとは異なります。

事務局記入項目 【管理NO: \_\_\_\_\_】

【部門: 施設系 ・ 在宅系】

## ◆基本情報

<b>会社名</b>	株式会社孫の手・ぐんま
<b>【事業所名】</b>	デイホーム孫の手・いづか
<b>【事業所住所】</b>	群馬県高崎市飯塚町398
<b>【管理者名】</b>	高橋直哉
<b>【サービス分類】</b>	通所介護
<b>【開設日時】</b>	平成29年4月1日
<b>【利用定員】</b>	50名
<b>【併設事業】</b>	なし

<b>【稼働率・入居率】</b>	30%
<b>【常勤・非常勤数】</b>	8名
何を取り組んで稼働率・入居率が上がったのか？	「こんな施設あったらいいな」という思いの籠った建物や設備などのハード面と「自分の家族を預けたい」と思えるリハビリや個別対応といったソフト面の両方を兼ね備えられるように努力してきたので開所間もなく稼働率が上がったと考えられます。
※理由を出来るだけ具体的に記載を	

※追加事項はガイドブック等には反映いたしません

<b>目指す事業所像 (400字まで) 文字数</b>	<b>399</b>
(どのような事業所を将来目指すのか。ビジョン・理念を踏まえて記載ください。)	
思いがけず障がいや背負ってしまった方や心や体が思うようにならない方々の本当のくやしさを本当の歯がゆさは我々には知り得ることはできません。ただ施設を利用して頂いているわずかな間でもその気持ちを忘れて、楽しい時間を過ごしていただくことに関して、我々は全力で取り組み続けていきたいと常に思っています。利用者様に明るく楽しい気持ちで過ごしていただくのに、職種は関係ありません。我々は職種の垣根を越え、チームとして助け合いながら日々頑張っております。そして当社の経営理念は「人生を楽しむべし」です。自分が楽しめたと思う空気は他人へも波及し、その受けた他人もまた楽しく幸せだと感じます。逆に相手が楽しく生き活きていると自分も気持ちがいいものです。そういった波及が利用者様を満足させ、社員同士も楽しくなり、経営に効果的に波及すると思っております。係わる全員が楽しく過ごせるようにすることを目指しています。	

文字数各200文字までです。エクセルで文字をいれると右側に自動的に文字数ができます

<b>1.独自コンセプト</b>	事業所で取り組んでいるこだわりの独自コンセプトを、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。 建物にこだわりがあります。まず地域交流目的の喫茶スペース(MAGO CAFE)・施設内には調理室・利用者様用の某有名カフェ風喫茶スペース・個浴槽4室・陶芸金のあるレトロ部屋・京和風を思わせる玄關などなど。更に、リハ専門職(PT・OT)配置の個別徒手リハの提供。来所者が「介護施設にあずけられて情けない」という思いを感じさせず、自尊心を尊重し、健康維持増進・重症化防止の図れる個別を大事にする通所施設。	文字数	200
<b>2.職員(教育・育成)(採用・離職防止)</b>	職員とのかかわりとして事業所で取り組んだ内容(人材育成・チームワーク・採用・離職防止・モチベーション向上など)を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。 入社2週間以内に中途採用者も含め、社長自らの新人研修開催。独自の教育プログラムのSU(スキルアップ)シートを開発し、スキルアップ指標の明確化と、個々の能力に合わせた目標が設定可能になる。指標に合わせた教育を実施し、1ランクアップごとに職能給が月1万円支給。会社全体での研修を継続的に実施。忘年会では、表彰式(孫の手社員1番・アイデア1番など)があり、月事には褒章制度を導入。離職率は20%と平均。	文字数	199
<b>3.利用者自立支援</b>	利用者とのかかわりとして事業所で取り組んだ内容(ケア手法・個別ケア・ケアマネジメント、リハビリ、独自のケア理論など)を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。 何らかの要因で介護保険施設で出会うご利用者様。ノーマライゼーションの価値観をモットーに、障がい雇用も推進しています。個性や個別の障害特性に応じた個々のリハプログラムをリハ専門職と介護職が共同してアプローチします。その中には、生活そのものへ繋ぐ練習なども含め、陶芸や調理なども通し、役割へと結んでいきます。ご家族様アンケートでは、以前より自発的な動作や出来ることが増えたとの答えが7割を超えました。	文字数	199
<b>4.家族</b>	家族とのかかわりとして事業所で取り組んだ内容を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。 当施設の利用によりご本人様だけでなく、ご家族様の生活も明るく楽しいものになるために、機能訓練だけでなく、生活機能向上のためのリハビリの提供の開始しました。その事が実際の生活の中で発揮されることでご家族様の負担軽減やご本人様の意欲向上を目的としています。ご家族様アンケートの結果、悪くなった・表情が暗くなったと答えたご家族様は1人もおらず、負担が軽減した・笑顔が増えたと答えた方が6割を超えました。	文字数	199
<b>5.地域</b>	地域とのかかわりとして事業所で取り組んだ内容(社会、行政、医療連携など)を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。 当施設は、地域の住民の方々が気軽に集い、談笑することのできるスペースを有した地域密着型のスーパーマーケットの跡地に建てられました。地域の方々より気軽に集うことのできるスペースがなくなってしまうという話を聞き、施設の一角に地域の方々気軽に使って頂ける地域交流スペースを設けました。開所した月は5名でしたが、3か月経過した現在では月間で30名以上の方々がお越しになり、地域への認知度も上がっています。	文字数	200
<b>6.コンプライアンス(法令遵守)リスク管理</b>	事業所が守るべきコンプライアンス(法令遵守)や事前のリスク管理など事業所で取り組んだ内容を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。 勉強会の定期開催で介護技術を向上させているだけでなく、初回に利用される方がいる場合は、必ず最初にリハ専門職が機能評価を行い、必要な福祉用具、適切な介助方法などを介護職員・看護職員と共有し、事故防止だけでなく、過介助に陥らず自分の能力を最大限に発揮できるように常に努めています。また目を離した際に転倒事故などの発生が多いことから、持ち場を離れる場合には声かけを徹底することで、事故を未然に防いでいます。	文字数	200

文字数各600文字(合計1200文字、タイトル込)までです。エクセルで文字をいれると右側に自動的に文字数ができます。

<b>7.今年のテーマ【活きる】</b> 活きる取り組みを2つ、タイトルと内容をご記入ください(1~6の詳細も可)	<b>【7-1】</b> 特に発表したい、共有したい、事業所独自の【活きる】内容を、取り組んだ成果を踏まえて具体的に記載してください。 【タイトル:間違った職種意識の改善とそのメリット】●開所に先立ち、ご利用者様に「今日も一日楽しかったよ。」と言って帰って頂く事を最優先に行動するにはどうすればよいか、その弊害となりうる事柄についての検討を全職員で実施しました。その中でリハ職だからトレコールに対応しないや、看護職だからレクは行わないや、介護だからリハビリは知らなくてよいなど、〇〇だからという間違った職種意識がご利用者様の満足に対しての阻害因子になっているのではないかと考えに至りました。そしてその意識改革の必要性を認識しました。「ご利用者様にとって誰が何の職種だからというのは関係ない、職種が何であるかの前にデイホーム孫の手・いづかの職員なのだ。」という意識を全職員の間で統一する事ができました。それから〇〇だからと言わない事で、意識の改革と行動の見直しを行い、改善の方向性が見出せました。その結果、専門性は維持しつつ既成概念に凝り固まった職種の垣根を取り払うことが出来ました。そして、お互いの業務を経験することで相互理解と、チームとして誰でも出来る業務が増え、職員の能力が著しく向上しました。職員が持っている能力を「活かす」ことに成功しました。実際に実施してみると多様なニーズに個人ではなく、チームで即座に対応することが可能であり、ご利用者様の評判もとても良く、今では最も取り組んで好評だったと思える事柄の一つです。	文字数	599
	<b>【7-2】</b> 特に発表したい、共有したい、事業所独自の【活きる】内容を、取り組んだ成果を踏まえて具体的に記載してください。 【タイトル:孫の手ベーシックという行動規範】●行動規範は様々な会社にあります。そして我々にも「孫の手ベーシック」という名の10個の行動規範があります。チームワークの大切さ、セルフコントロールの重要性などの仕事に取り組む姿勢についてわかりやすく明示されており、1つ1つの項目すべてが働く上で非常に重要なものばかりです。それはただ存在するだけではなく、毎朝の朝礼において一日一項目ずつ職員全員で大きな声で唱和します。唱和によって当日の行動目標の確認と意識統一を図るだけでなく、大きな声を出すことでまだ目の覚め切れていない自分「活」を入れ、仕事モードへと気持ちを作っていくというメリットもあります。ベーシックワーク一つはシンプルで簡単そうなる事柄ですが、だからこそ出来ない時が往々にしてあります。それゆえ業務終了後のミーティングで「孫の手ベーシック」と照らし合わせて、当日の目標に対する自分の行動の振り返りを行います。この作業は開所以来毎日繰り返して実施してきました。今では暗唱出来ますが、「何をしなければいけないのか。」「どういう事が求められているのか。」を自然に身に付けてこそものと思いますので、そうなる日が来るまで続けていきたいと思っております。因みに個人的には10番目の「できない困難な事、出来そうで出来ない事は、出来ない理由を考えるのではなく、どうしたら出来るのかを追求します。」が一番心に響きます。	文字数	599

## ▼事業所を紹介する写真(3枚)を自由に添付してください!



リハビリ専門職(PT・OT)による機能評価と個別リハビリ



某有名カフェ風喫茶スペースでの食事風景(食事は手作りで)



地域交流サロンにもお客様が来ていただけるようになりました。

## ▼この1年間で一番印象に残っている写真を添付してください!



陶芸を楽しみにしてくれるご利用者様が女にも増えました。

## ▼事業所の【活きる】に関わる写真を添付してください!



孫の手ベーシック振り返り中です。

## ▼事業所で活躍するスタッフ1名を写真で紹介してください!



介護職員・小野里一恵さんによる職種の垣根を越えた機能訓練